

平成28年度 単位互換科目・共同開講科目一覧

福岡市西部地区五大学連携 単位互換科目・共同開講科目 連絡窓口

大学名	No.	窓口	電話番号
九州大学	No.1～No.31(31)	学務部学務企画課 企画調査係	092-802-5927, 5928
西南学院大学	No.32～No.61(30)	教務部教務課	092-823-3273
中村学園大学	No.62～No.73(12)	教務部	092-851-6742
福岡歯科大学	No.74～No.75(2)	学務課教務係	092-801-0411 内線572
福岡大学	No.76～No.84(9)	教務部教務課	092-871-6631 内線2512

()は各大学の開講科目数を示す。

共同開講科目数 1 科目
単位互換科目数 84 科目

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日	
1	九州大学	基幹教育院 病院キャンパス	放射線とは何だろうか？	續 輝久 大喜雅文 佐々木雅之 百島則幸 古市正人 斐倫明 神谷研二	身近なところに存在する「放射線」並びに「放射性同位元素」に対する理解からスタートし、主として医科学系の応用に重点をおいて講義を構成します。これまであまり学ぶ機会がなく、主にマスメディアからの受身的な「放射線に対する理解」を基に判断することが多かったと思います。東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所からの放射線・放射性物質の大量放出・拡散事故を受けて、今後、如何にして「放射線」並びに「放射性同位元素」と向き合うのか等を含めて科学的に考える契機となるように、話題を提供します。	学部	特に無い	各大学5人(他 大学枠を20人 と設定し、この 枠内で調整)	2	後期集中[9月6 日(火)～9日 (金)]	7月下旬 予定	9月6日予定	課題レポート により成績評 価	
2		基幹教育院 福岡演習林 (篠栗)	フィールド科学研究入門 (里山プログラム)	榎木 勉 大槻恭一 大賀祥治 古賀信也 笠原玉青 片山歩美	福岡市近郊の里山を対象に、実際に歩き、見て、触れて、測り、身近な自然について、グループディスカッションを通じ考えます。プログラムを修了した時には、森林の面白さと、一方通行で与えられている情報と自ら測り・考えて得る知識とのギャップを感じることでしよう。 (http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC/index.html)	学部1・2年生	山、川、牧場等での実 習を厭わず進んで参加 でき、自然や生物に関 心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害傷 害保険(学研災)に加入 のこと	3人程度	2	集中(3泊4日)	6月10日	8/23(火) ～8/26(金) (4日間)	なし	
3		基幹教育院 宮崎演習林 (椎葉)	フィールド科学研究入門 (山岳森林生態プログラム)	菱 拓雄 田代直明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。山岳森林生態プログラムでは、宮崎演習林にて「山岳地の森林の成り立ちや構造」をテーマとします。 (http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC/index.html)			4人以内		集中(4泊5日)	6月10日	8/29(月) ～9/2(金) (5日間)		
4		基幹教育院 北海道演習林 (足寄)	フィールド科学研究入門 (北海道プログラム)	内海泰弘 智和正明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。北海道プログラムでは、北海道演習林や雌阿寒岳などで「十勝の多様な森林と土地利用」をテーマとします。 (http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC/index.html)			3人		集中(4泊5日)	6月10日	9/5(月) ～9/9(金) (5日間)		
5		基幹教育院 屋久島	フィールド科学研究入門 (屋久島プログラム)	吉田茂二郎	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。屋久島プログラムでは、屋久島にて「屋久島の多様な自然と人間活動」をテーマとします。 (http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC/index.html)			3人		集中(3泊4日)	6月10日	9/6(火) ～9/9(金) (4日間)		
6		基幹教育院 水産実験場 (津屋崎)	フィールド科学研究入門 (アクアフィールドプログラ ム)	及川 信 鬼倉徳雄 吉国通庸	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。アクアフィールドプログラムでは、津屋崎水産実験所にて「人間活動と海洋環境の繋がり」をテーマとします。 (http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/FSC/index.html)			2人		集中(3泊4日)	6月10日	8/16(火) ～8/19(金) (4日間)		
7		基幹教育院 九州大学農学部 附属農場	体験的農業生産学入門	望月俊宏 尾崎行生 中野 豊 酒井かおり 安彦友美	本講座では、作物(イネおよび園芸作物)や家畜(牛やニワトリ)などを対象に農業生産の実際および食品加工を体験すると共に、その基盤となる理論、農業生産と環境(保全)との関係や食物の安全性などについて学習する。農学部附属農場(福岡県糟屋郡粕屋町および篠栗町)において、2泊3日の宿泊集中実習・講義を実施する。			若干名(4名以 内程度)		1	夏季集中	7月13日		未定

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
8	九州大学	文学部 箱崎文系地区	人文学III	光藤 宏行ほか	講義題目: コミュニケーションと共同体 なぜ人は集まるのか、そしてまたその共同体が消えることがあるのはなぜか? 共同体が形作られるとき、コミュニケーションがなされる。本講義では、共同体とコミュニケーションの成立や維持、消滅について、人文学の(哲学・言語学・歴史学・人間科学を含む)多様な視点から考察する。講義は文学部の担当教員がリレー形式で行う。	学部2-4年生	なし	10人	2	後期 毎週水曜2限目 (10:30~12:00)	10月5日	10月5日	期末試験は実施しない(レポートの予定)
9	九州大学	文学部 箱崎文系地区	人文学IV	岡崎敦ほか	講義題目: テキストの誘惑、フィロロジの射程 フィロロジは、ことばとテキストを対象とする批判的方法論と知の集大成として、伝統的な人文学の文字通り中核に位置してきました。そこでは、批判的校訂テキスト編集を念頭においての資料学的方法論体系が洗練されるとともに、とりわけ20世紀後半には、受容や解釈の次元に強調点を置く研究も多く現れました。テキスト理論、記号論、物語論、脱構築などが飛び交う空中戦の議論と、極度に洗練された職人芸の双方が不可欠という意味では、人文学の現在を省察するための特権的な観察場所ともいえます。この授業では、ことばやテキストを対象とする、理論、実践、実証、さらには学問のあり方自体の吟味に至るさまざまな研究の事例に触れながら、人文学の伝統と前衛の双方を味わっていただきたいと思ます。	学部2-4年生	なし	10人	2	後期 毎週水曜2限目 (10:30~12:00)	10月5日	10月5日	期末試験は実施しない(レポートの予定)
10	九州大学	歯学府 馬出キャンパス	硬組織研究法	久木田 敏夫	硬組織の形成や再建・再生に関する研究を行うには、組織学・解剖学・発生学という形態学の知識はもちろんのこと、免疫学、分子生物学、細胞生物学、血液学等の幅広い知識や生体イメージング等、関連する技術開発についての理解も必要である。本講義は骨代謝研究や再生医学研究、及び関連する技術開発領域の第1線で活躍している著名な研究者による特別講義で構成されている。本講義は、歯学研究に於いても重要な意味を有する「骨代謝・硬組織再生研究」に関する最先端の情報を提供することを目的とする。それぞれの研究が様々な方法論を駆使して行なわれていることを学ぶことにより、硬組織研究を遂行する為の基本的な研究能力の開発に繋がるものと考えられる。また、本講義を受講する事により、硬組織研究に限らず、将来、広くライフサイエンス研究の第一線で活躍することのできる潜在的な能力を身につけることができる。	大学院生	特に定めない	特に定めない	3	集中	5月13日	6月 詳細未定	試験は実施しない
11	九州大学	歯学府 馬出キャンパス	口腔ケアと先端技術	柴崎 顕一郎 (ライオン株式会社) 内山 章 (ライオン株式会社) 松下 健二 (国立長寿医療研究センター)	歯磨剤・歯ブラシなどの口腔ケア製品は、毎日の生活習慣として使用され、口腔疾患の予防に大きな役割を果たしている。しかし、歯学研究・教育においては科学的な視点からはあまり取り込まれていない。本講義の狙いは、口腔ケア製品の機能とその作用メカニズム、さらにはこの分野における口腔疾患予防の技術について科学的に理解することである。また、健康寿命と口腔の健康の関連性や老化あるいは老年病と口腔疾患の関連性などについても最新の研究成果を踏まえて講義を行い、超高齢社会である日本の口腔保健の推進に貢献していきたい。	大学院生	特に定めない	特に定めない	2	集中	未定	後期 詳細未定	試験は実施しない
12	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	構法設計論	井上朝雄 松村秀一 小見康夫 腰原幹雄 石山央樹 西原 守	建築物の構成方法について学ぶ(応用編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	前期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。
13	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	環境総合プロジェクト	田上健一 鵜飼哲矢 大井尚行 井上朝雄 包清博之 朝廣和夫 土居義岳	福岡・九州・アジアが抱えているさまざまな課題に、海外の学生や留学生と協同として取り組み、チーム作業を通して解決策を導きだし、これからの次代の「環境設計」を提案する。	学部4年	建築・都市・ランドスケープデザインの専門的な知識と技術があること。 また、海外の学生と意思疎通をはかれる語学力があることが望ましい。	特になし	4	前期水曜3~5限	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。講評会での発表によって成績をつける。
14	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	建築生産	井上朝雄 松村秀一 遠藤和義 秋山哲一 浦江 真人 角田 誠	建築を生産するシステムについて学ぶ(入門編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	後期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	9月18日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
15	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	ソフトウェアアーキテクチャ	高木英行	ウォータフォールモデルを例に、ユーザ要求仕様、システム設計、ソフトウェア設計、レビュー、コーディング、単体/結合テスト等のソフトウェア開発の流れと各工程の手法とソフトウェア品質の重要性を理解する。	学部2年生以上	■プログラミングを行うわけではないが、C言語を例に解説することが多いので、「プログラミング言語」関係の授業で事前にC言語をよく履修しておくことが望ましい。 ■3人チームで演習をし、期末レポートを作成するので、途中で履修放棄する可能性のある学生は履修しないこと。	5人程度	2	後期第4quarter 月曜2、3限 10:30～14:30 * 時間割変更の可能性あり	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	11月5日	2月上旬予定 (H27年度は2月8日(月))
16		農学部 水産実験所 (津屋崎)	アクアフィールド科学実習	吉国通庸 及川 信 鬼倉徳雄	野外での生物採集と実験室内での種同定作業を通して、海洋構造と生物多様性との関連性を学ぶ。干潟、河口域、砂浜域、浅海域の生物相の相違や特徴を理解するとともに、魚類、甲殻類等の分類学基礎を押さえる。	学部3-4年生	3泊4日の宿泊が可能なこと。野外での生物採集等の活動が可能なこと。	3-5人	1	集中* (夏季休業中の3泊4日、9/13-16を予定)	7月1日	9月13日 予定	期末試験は実施しない。 レポートあり。
17		大学院地球社会 統合科学府 伊都キャンパス	地球社会フィールド調査法	オムニバス形式	調査計画の立案と実施方法、資料(史料、試料)・文献収集、実験・社会調査データ収集、調査研究上の倫理、調査結果の社会的還元方法、リスクマネジメントなど、様々なフィールドで調査するための基本を講義する。	学部3・4年生、 修士課程学生	無し	10人	1	後期 隔週水曜日 5限目 (16:40-18:10)	10月11日	10月19日	出席とレポートにより評価する。
18		大学院システム 生命科学府 箱崎・馬出・伊都 キャンパス(遠隔 授業有)	生命情報工学通論	岡本 正宏 内田 誠一 田代 康介	生命科学系の大学院生にとって有用な生命情報・生命工学系の基礎的な事項(情報、シミュレーション、画像処理など)の概要を理解する。	生命系学部出 身大学院生	無し	10人	2	前期前半 (4月～6月) 毎週水曜日 2時限連続授業 (3・4限)	4月8日	4月12日	授業の進行 状況により受 講生へ通知 する
19		大学院システム 生命科学府 箱崎・馬出・伊都 キャンパス(遠隔 授業有)	生命科学通論	古賀 誠人 中條 信成	高校生物学から大学初年次レベル程度の講義を行う。生物学の基本的な事項についてミクロからマクロレベルまで幅広く講義を行う。	情報・工学系学 部出身大学院 生	無し	10人	2	前期 毎週火曜日 2時限	4月8日	4月12日	授業の進行 状況により受 講生へ通知 する
20		QREC 伊都キャンパス	アントレプレナーシップ入門	五十嵐 伸吾	アントレプレナーシップの基礎を学ぶ。アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用する」ことである(Drucker,1993)。起業機会を発見あるいは創造し、それを創造性に富むアイデアで翻訳あるいは拡充強化することで具体化していくプロセスである。本講義では、このプロセスに沿いながら、起業機会の発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学ぶ。学生参加型の体験的な学習を重視する。	学部生、大学院 生	特になし	20人	2	水曜4-5限(前期 前半)	4月12日	4月13日	期末試験は 実施しない
21		QREC 伊都キャンパス	アイデア・ラボ I	五十嵐 伸吾	多くのアイデアの中から、精査、選択の過程を経て実際に実行できるものは1つだけ。そうであれば、最初に出来るだけ多くを創出できれば成果は得られない。本講義では身近な材料を用いながら、発散的技法を使い短時間で多くのアイデアを創出した上で、収束手法により最適なアイデアを選択する演習を行う。アイデア創出をグループ単位で行うことで、より良い解決策を提案するために、どのようにグループを刺激し活性化するかグループ・ダイナミクスのスキル向上の機会を合わせて提供する。一部の講義ではゲストによる講義も計画している。	学部生、大学院 生	上記「アントレプレナー シップ入門」を受講済み であることが望ましい	20人	2	水曜4-5限(前期 後半)	6月6日	6月8日	期末試験は 実施しない
22		QREC 博多駅サテライト キャンパス	技術系アントレプレナーシ ップ	五十嵐 伸吾	QREC科目の実践編の一つ。起業機会の認知、その起業機会を活用するためのアイデア創出、潜在市場の分析、ビジネスモデルの検討、事業化のための戦略の立案、実際の組織の立ち上げなどを全体化、統合化を行う。特に本科目では技術を基礎とする技術シードに焦点を集め、知的財産権(IP)や機密保持契約などを駆使、大手を中心とする競合相手に対して競争の主導権を握りながらどのように事業を立ち上げるかを演習形式で学習する。ケーススタディー学習を多用し、実際の技術シードによる演習も2つ程度試みる。	大学院生のみ	経営学の基礎(特に戦 略論、会計、マーケティ ング)を履修済であるこ とが望ましい	5人程度	2	金曜6-7限 隔週 (前期) (18:30-21:40)	4月12日	4月15日	期末試験は 実施しない

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
23	九州大学	QREC (メイン)伊都キャンパス、 (遠隔)馬出、大橋キャンパス	アントレプレナーシップ入門 (後期)	五十嵐 伸吾	アントレプレナーシップの基礎を学ぶ。アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用することである(Drucker,1993)。起業機会を発見あるいは創造し、それを創造性に富むアイデアで翻訳あるいは拡充強化することで具体化していくプロセスである。本講義では、このプロセスに沿いながら、起業機会を発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学ぶ。学生参加型の体験的な学習を重視する。	大学院生のみ	特になし	10人程度	2	水曜日、4・5限(後期前半)	10月3日	10月5日	期末試験は実施しない
24		QREC 伊都キャンパス	Global Seminar(English)	五十嵐 伸吾	QREC invited some educators from Sweden. They are educators for technology-based entrepreneurship. Their school is one of the best practices in entrepreneurship education field. In this course, we discussed with "Idea Evaluation" with a thorough analysis of early-stage innovation idea for research utilization, especially focused on the ideas from basic research, for example, in Life Science and Material Science.	学部生、大学院生	本科目はすべて英語で行う。英語でのコミュニケーション能力は必須。加えて、経営学の基礎(特に戦略論、マーケティング)を履修済であることが望ましい	5人程度	1	夏季集中	未定	未定	
25		QREC (メイン)伊都キャンパス、 (遠隔)馬出、大橋キャンパス	アントレプレナーシップ・セミナー	五十嵐 伸吾	QREC科目の基礎編の1つ。一線で活躍する8人のゲスト講師を招聘し、直接、その外部講師と議論あるいはワークショップを通しての相互交換により、社会と学生個々との接点を作り、あるいは社会と自分(学生個々)との距離を測る機会を提供する。講義は毎回、学生有志による企画委員を募り、テーマの選定、講師の選定・交渉等を一任する。つまり、毎回、学生の目線に近いテーマ、講師を選定し学生にとってのホット 이슈を議論する。	学部生、大学院生	特になし	5人程度	2	金曜日、5、6限:2コマ連続(後期後半)	11月28日	12月2日	
26		QREC 伊都キャンパス	アイデア・ラボ II	五十嵐 伸吾	「アイデアラボ I」では発散手法を用いたアイデア創出法を学んだ。本講義では、社会環境の変化によって生じる機会をどのように発見するか学んだ後、見出した機会に発散手法によるアイデア創出を組み合わせ、具体的な課題(特に社会的起業:ソーシャル・アントレプレナーシップ)に関する課題を中心に解決するアイデア創出の演習を行う。「アイデアラボ I」に引き続きグループワーク中心としながら、さらに高度なチームの力を最大限に活用するスキル向上を目指す。	大学院生のみ	前述「アイデア・ラボ I」を履修済であることが望ましい	3人程度	2	水曜日、4、5限(後期後半)	11月28日	12月7日	
27		QREC 伊都キャンパス	Technology Marketing Game (English)	牧野 恵美	This intensive course is the equivalent of "Technology Marketing" offered in Japanese but will be conducted in English. The best products are not necessarily the best selling products. For a product to sell, they must be optimized for the market it serves, striking a balance between features and price. Students will play a sophisticated marketing management game in which stock prices change according to market performance. Executive decisions on product development, distribution, HR, marketing and sales will be simulated and tested to encourage experiential learning of major marketing theories.	大学院生のみ	他大学の学生は、ライセンス料を自己負担	若干人	2	土日集中 (6/18.19、7/9.10)2-5限※7/10のみ3-5限	未定	6月18日	
28		留学生センター 箱崎キャンパス	Politics and Society in Modern and Contemporary Japan: The continuing struggle for citizen participation and democracy	バンオーベルベケ・ディミトリ (レウヴェン・カトリック大学・教授)	One of the main reasons of Japan's renown in the world is its soft power we all know because of its economic power but also because of manga, anime, movies, architecture, fashion, etc. It is less known, yet as important for the rest of the world that Japan has an excellent track record as to crime rates and crime control. What does this mean for the social fabric of one of the main economies in the world? The purpose of the course is to familiarize students with scientific tools and concepts to understand, describe and analyze Japanese society in a dynamic perspective by learning to explain stability and change in Japanese politics and reflecting on the dynamics of society and politics in modern and contemporary Japan.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期集中 (3限または2限) 6/22~7/8 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月10日	6月22日	7月8日
29		留学生センター 箱崎キャンパス	Death in Traditional Japanese Literature in the Asian Context	ピニングトン・ノエル (アリゾナ大学・准教授)	This is a survey of the literary treatment of death and killing in the Japanese tradition from the 7th to the 18th centuries. The course is both a chronological introduction to the literary tradition and an investigation of Japanese conceptions of death, with particular attention paid to origins in mainland culture and contrasts with that culture.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期集中 (3限または2限) 6/22~7/8 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月10日	6月22日	7月8日
30		留学生センター 箱崎キャンパス	Mind and Behaviour across Asia	ガン・チュンホン (マレーシア国立大学・講師)	This subject aims to understand the mind and behaviour among people from various cultures across Asia with cross-cultural psychology perspectives. The unique cultural elements related to psychology from Asian perspectives rooted in the system of thought based in or gleaned from Asian cultures will be introduced. With the trend that cross-cultural elements are emphasised more than before, psychologists in Asia now do research and practice by incorporating Asian values and perspectives despite adopting solely the theories and knowledge from the West.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期集中 (3限または2限) 7/19~8/5 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月10日	7月19日	8月5日

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
31	九州大学	留学生センター 箱崎キャンパス	Economic Integration in Asia	バン ドウ トラン (ベトナム国家大学ハノイ校・経済開発学センター長)	There has been a worldwide trend towards economic integration over the past decades. Economic integration involves agreements between countries to facilitate the flow of capital, goods and services, and labor across their respective international borders. Free trade area is the first level of economic integration. A free trade area is the region encompassing a trade bloc whose member countries have signed a free trade agreement (FTA). ASEAN countries committed together within intra-ASEAN FTA as well as ASEAN-Dialogue Partner FTAs namely with Japan, Korea, China and New Zealand. The impact on economic development however is dynamic, countries may gain or loose from economic integration. This course will provide background knowledge on economic integration, in which AFTA and TPP are taken into consideration.	学部生・大学院生	英語での授業 TOEFL530以上	若干人	2	前期集中 (3限または2限) 7/19~8/5 HP要参照 (www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw/courses.htm)	6月10日	7月19日	8月5日
32	西南学院大学	-	新約神学A	須藤 伊知郎	【授業の到達目標及びテーマ】 新約神学は、予め伝統的な教義を前提とし旧新約聖書全体に矛盾のない統一的一つの神学を見出そうとするのではなく、新約聖書独自の神学、さらに新約各文書に見られる多様な諸神学を明らかにしつつその中心的な使信を探究することを目的とする。各文書が成立した状況の中で伝承の担い手、また編集者がイエスの福音に促されて何を選び取りどう行動したかということを歴史的、批判的に検討することを通じて、無時間的普遍的に妥当するいわゆる「真理」ではなく、個別的な一回の状況の中へと語られた、受肉した神の言葉を追及する。 【授業の概要】 本年度前期はF. ハーン『新約神学Ⅰ上』(日本基督教団出版局、2006年、著者割引で購入可)を教科書にして、最古のキリスト教会の宣教と神学、使徒パウロの神学(前半)を扱う予定。教科書と参考書を輪番で要約発表しクラス全体で討議する。 【事前・事後学習等についての具体的な指示】 毎回教科書の該当部分を熟読し、予習をした上で積極的に討議に参加すること。事後に授業の内容を振り返り、神学的テーマの理解を深化させること。 【授業計画(各回ごとの授業内容)】 1.はじめに/2.「第Ⅱ部 最古のキリスト教会の宣教と神学 9 アラム語を話す原始教会の宣教と神学」(1)/3. 同 (2)/4.「10 初期のヘレニズム・ユダヤ人キリスト教諸教会における福音の使信」(1)/5. 同 (2)/6.「第Ⅲ部 使徒パウロの神学 11 パウロ神学の論述にかかわる問題について」(1)/7. 同 (2)/8.「12 旧約聖書に約束された救いの成就の宣言としての福音」(1)/9. 同 (2)/10.「13 イエス・キリストの人格とわざの使信としての福音」(1)/11. 同 (2)/12.「14 人間とその罪、失われていることの認識としての福音、および律法の問題」(1)/13. 同 (2)/14.「15 救いをもたらす有効な力としての福音」(1) /15. 同 (2)	1年次以上	特になし	3人	2	週1回 前期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月12日	成績は、期末レポート、発表・討論などの参加等で総合的に評価する。
33	西南学院大学	-	新約神学B	須藤 伊知郎	【授業の到達目標及びテーマ】 新約神学は、予め伝統的な教義を前提とし旧新約聖書全体に矛盾のない統一的一つの神学を見出そうとするのではなく、新約聖書独自の神学、さらに新約各文書に見られる多様な諸神学を明らかにしつつその中心的な使信を探究することを目的とする。各文書が成立した状況の中で伝承の担い手、また編集者がイエスの福音に促されて何を選び取りどう行動したかということを歴史的、批判的に検討することを通じて、無時間的普遍的に妥当するいわゆる「真理」ではなく、個別的な一回の状況の中へと語られた、受肉した神の言葉を追及する。 【授業の概要】 本年度後期はF. ハーン『新約神学Ⅰ上・下』(日本基督教団出版局、2006/2007年、著者割引で購入可)を教科書にして、パウロの神学、パウロ学派の神学、パウロに依存しないヘレニズム・ユダヤ人キリスト教諸文書の神学的構想を扱う予定。教科書と参考書を輪番で要約発表しクラス全体で討議する。 【事前・事後学習等についての具体的な指示】 毎回教科書の該当部分を熟読し、予習をした上で積極的に討議に参加すること。事後に授業の内容を振り返り、神学的テーマの理解を深化させること。 【授業計画(各回ごとの授業内容)】 1.「Ⅰ上 第Ⅲ部 使徒パウロの神学 16 信仰と信仰共同体における生活の基盤としての福音」(1)/2. 同 (2)/3.「17 この世のための救いの使信としての福音」/4.「18 希望の証言としての福音 補論 パウロとイエス」(1)/5. 同 (2)/6.「第Ⅳ部 パウロ学派の神学 19 パウロ学派という現象 20 イテサロニク書」/7.「21 コロサイ書とエフェソ書」(1)/8. 同 (2)/9.「22 牧会書簡」/10.「Ⅰ下 第Ⅴ部 パウロに依存しないヘレニズム・ユダヤ人キリスト教諸文書の神学的構想 23 使徒後時代のヘレニズム・ユダヤ人キリスト教諸文書について」/11.「24 ヤコブ書」/12.「25 I ペトロ書」/13.「26 ヘブライ書」/14.「27 ヨハネの黙示録」/15.まとめ	1年次以上	特になし	3人	2	週1回 後期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月20日	成績は、期末レポート、発表・討論などの参加等で総合的に評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
34	西南学院大学	-	英米文学・文化研究B(3)	加藤 洋介	<p>【授業の目標】英語は国際言語、グローバル言語として発展し、その使用圏を拡大した。拡大は今後もつづくだろうか。英語の拡大がつくる未来はどのような世界か。日本語と英語の関係はどうなっていくのか。わたしたちはいまこれらの問題を考えることを迫られているが、そのためにはまず過去、すなわち20世紀の英語教育史を知らなければならない。英語はどのように国際言語として発展したか。この講義はこの問いに答えることを目的とする。じつは英語教育史はグローバル化という曖昧な語で一般に考えられているほど単純でない。文学、歴史、政治学が複雑にかかわった歴史である。そこでこの講義は、(1)英語教育史にかんする知識と情報を与え、(2)学生が歴史的視点に立って同時代のグローバル化のあり方を考えられるように導く。【授業の概要】講義は3部に分かれる。はじめに国際言語としての英語の発展を考えるための理論的枠組みを示したあと、英語教育における中心化の政治学を考える第1部に移行する。イギリス連邦と「精神の帝国」の形成、辞書と規範文法、英語イデオロギー、英語試験といった話題について講義し、それぞれ文献を紹介しながら情報を提供する。第2部は、反英語帝国主義の流れを見る。とりあげる話題は社会言語学の台頭、英語の変種の容認、ゲキ・ワ・シオンゴのポストコロニアリズム文学論である。第1部と第2部でそれぞれ英語教育における中心化の政治学と多様論の政治学を理解させた後、第3部で翻訳の問題をとりあげ、日本の英語教育をコンテキストとして論じる。最後に、学生に第1部と第2部の内容を比較し、自分の立場を決め、国際言語としての英語の発展の歴史を自分の視点でレポートにまとめることを求める。【授業計画】講義計画、文献案内、年表／理論的図式——Kachruの3円と英語教育における求心力と遠心力／移民国家アメリカの言語事情／ウィンストン・チャーチルの文明史／辞書の歴史と規範文法／TOEFLと英語試験の政治学／＜第1部＞まとめ／戦後の植民地独立の歴史とゲキ・ワ・シオンゴのポストコロニアリズム／社会言語学とイデオロギ／ガイ・クックのダイレクト・メソッド批判／グローバル化の逆説／英語の変種がつくる未来／＜第2部＞まとめ／翻訳と世界文学／21世紀の英語教育を考える</p>	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 後期 月曜3時限目 (13:00～14:30) 90分×15回	4月2日	9月26日	講義参加とレポートによって評価する
35	西南学院大学	-	ことば学入門	藤本 滋之	<p>【授業の到達目標及びテーマ】 毎日「無意識」のうちに使っている「ことば」の性質を「意識」し科学する。 【授業の概要】 毎日無意識のうちに使っていることばを意識して眺めると興味深い規則的な性質が多く観察される。それを英語と日本語の具体例を比較しながら考察する。 【準備学習等についての具体的な指示】 事前に準備する必要はほとんどない授業内容であるが、授業中は集中して問題意識を高めること。 【授業計画(各回ごとの授業内容)】 第1回 授業計画の説明と言語研究の基礎的背景の確認:ことばのもつ特徴-音と意味と構造(語と文) 第2回 語の構造(第1回):形態素(morpheme)-ポイと-ish 第3回 語の構造(第2回):microwavableという語の形成 第4回 音の特徴(第1回):音節の重さと強勢(stress)の規則 第5回 音の特徴(第2回):強勢とリズム、ことばのリズムと音楽のリズム 第6回 音の特徴(第3回):英語と日本語の子音と母音 第7回 意味の世界:英語と日本語の指示詞—this/that対コソア、go/come対行く/来ル 第8回 英語の歴史と語彙・語源:1066 and all that「不幸な星」と disaster 第9回 意味の規則性:有標性(markedness)と比喩発声のメカニズム「足ヲ洗ウ/手ヲ汚ス」対 wash one's hands/get one's feet wet 第10回 談話の意味:接続語句の日英比較—by the way対トコロデ、actually 対 in fact 第11回 言語と文化:出世魚とSapir-Whorf hypothesis、虹は7色か? 第12回 文の構造(第1回):言語の普遍性と特殊性 第13回 文の構造(第2回):文の構造と意味の関係 第14回 文の構造(第3回):構造に依存する言語の性質 第15回 まとめとさらなる勉強のヒント</p>	1年次以上	なし	制限なし	2	週1回 前期 木曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×15回	4月2日	4月7日	授業への参加度と試験(8月4日予定)

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
36	西南学院大学	-	英語史A	久屋 孝夫	英語の歴史1500年のうち前半の1000年の歴史を概観する。欧州大陸に居住していた話者数々の西ゲルマン語派のひとつだった言語が5世紀半ばにブリテン島に移住するようになって、エリザベス一世を統治者として擁する国家を形成するようになるまでの、紆余曲折を学ぶ。中でも英語の性格を変えるきっかけになった大きなきっかけとして挙げられるのは、8世紀末から10世紀初めのバイキング(北ゲルマン語派古代ノルド語の使い手)の侵攻、および11世紀後半のノルマン(9世紀にフランスに定住して公国を作った元バイキングでノルマンフランス語の使い手)の支配である。バイキングは古代英語の語尾を水平化するのに貢献し、ノルマンは英語語彙のゲルマン的要素をフランス語化するのに成功した。その結果、起源的には同じながら、現代英語は現代ドイツ語とはかなり異なる屈折語尾の着しく少ない、かつラテン語の語彙を多く含む同義語の豊富な言語となった。	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
37		-	英語史B	久屋 孝夫	アメリカ英語の成長とグローバル英語の隆盛を欧米近現代史と近代英語の辿った足跡を通して学ぶ。イギリスが16世紀末以降、欧州における覇権争いに勝利していく中で、獲得されていった大英帝国の植民地とされた世界の多くの国々で支配者の言語として、また必要悪としての公用語として、多様な種類の英語が誕生する過程に焦点を当てる。また英国自身が、市民革命、産業革命、社会格差を経て近代化していく中で、さまざまな新たな表現を生み、変化していく様子を観察する。	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 後期 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	9月21日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
38		-	英語学研究A	久屋 孝夫	regional dialects(地域によって異なる英語の姿); style/mode(対人関係や場面によって異なる英語の姿); sexist language(性差別と言語のつながり); words and representation(ことばは現実をどれだけ中立的に描写できるか)など社会言語学を中心とするトピックを扱う。	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 木曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月7日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
39		-	英語学概論A	久屋 孝夫	英語をそれが使用される言語外の諸要素(社会、文化、歴史)との関連で考察し、情報交換役割以外の幅広い言語の機能についての基礎知識を得る。【授業の概要】トピックを3領域にしぼり、それぞれのトピックに関して5回ずつ講義していく。【授業計画/各回ごとの授業内容】【第1回~第5回】(1)言葉遊び(ルイス・キャロルのAlice's Adventure in Wonderland 不思議の国のアリス)【第6回~第10回】(2)英語語彙の特色(語のルーツ探索、特定領域の語彙ネットワークの通時的体系)【第11回~15回】(3)婉曲語法(euphemisms)、言い換え(political correctness)、差別と言語(racism, sexism)【各トピックについて課題提出を求める。】	2年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
40		-	言語学B	久屋 孝夫	「時空間軸に沿って眺める言語の創造性・柔軟性~変化(「偏流」と変化型の普遍性について)」と題して、英語と日本語を中心として、時間軸に沿った普遍的な言語変化現象に焦点化して分析する。言語変化はことばが生きている証拠であり、それゆえに「言語の偏流(drift)には方向性がある。一定の方向に動く個人的変異だけが偏流を具現化する。それはあたかも入江のなかの一定の波の動きだけが潮流の輪郭を示すのに似ている。」(エドワード・サビア) トピックは以下の4点。1) 統語変化[文法化]現象grammaticalisationを視る【1回目~4回目】、2) 意味変化現象[変化の型]を視る【5回目~8回目】、3) 音韻変化現象[変化の型]を視る【9回目~11回目】、4) 語彙化[lexicalisation/ 語創造 coinage of notions/ words現象を視る【12回目~15回目】	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 後期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	9月26日	成績は、確認テスト、レポート、討論などの参加等で総合的に評価する。
41	-	コミュニケーション概論B	清宮 徹	私たちの身近な日常生活から政治、経済、社会、国際関係にいたるまで、コミュニケーションはあらゆる場面で見つけることができる。コミュニケーションという言葉はこのようにいろいろなところで使われ重要視されているが、コミュニケーション自身を注意深く探求することはなかった。そこで本講座では、組織と社会におけるコミュニケーションを「問題化」していく。つまり、「コミュニケーション的視点」から、人々の社会と生活そして国際社会における常識(当たり前)を考察し、今まで常識としていたことがどのようにして形成されてきたか、社会的・文化的コンテキスト(文脈状況)の中で、その意味を明らかにしていく。 受講対象者として幅広い学生(社会科学系から文学系まで)を視野に入れ、組織とビジネス・社会のコミュニケーションを、ヨーロッパ最新のポストモダンの視点、とくに言語(ディスコース)的アプローチで、多様なコミュニケーション問題を考察していく。 <講義のトピック例> 組織のレトリック、組織文化、リーダーシップ、上司部下のコミュニケーション、交渉、権力、組織の革新、意思決定と問題解決、リスクマネジメント、不祥事と企業倫理、ステークホルダーと広報、コミュニケーションと社会変革	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 後期 水曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月21日	本学後期試験期間中に 行い、他に2 ページ程度の レポート	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
42		-	コミュニケーション学基礎演習B(研究法)	清宮 徹	<p>本講座では、社会科学系の専門科目やコミュニケーション関連の演習(ゼミ)に必要な研究法(調査・分析方法)を学ぶことを目的とする。とくにこの講座は、質的研究アプローチに焦点を当てる。はじめに、社会的な背景や自分の問題関心を明確にして、何を探求したいか十分考え、研究トピックを定める。自分が日ごろ興味を持っている多様な問題(社会問題から人間関係上の問題)を反省的に考察することが大事である。この思考過程が研究アプローチ全体を左右するので、この思考訓練に重点を置く。そして研究調査の目的を明確にして、リサーチクエスチョン(研究上の問いかけ)を構築する。そのうえで、適切な調査研究の工程を考える。</p> <p>具体的な学習目標は、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題関心を深め、研究に向けて「問題化」を行う。多様な社会現象と身近な問題を読み説く訓練。それをリサーチクエスチョンにする工程。 2. 先行研究の情報収集力向上。文献調査・検索方法を学び、先行研究をまとめる(トピックは用意するが、自分の興味のあるテーマで調べても良い)。 3. 研究に必要なデータ収集方法、とくに質的データの収集について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ア)記述式アンケート調査法 イ)インタビュー調査法 ウ)観察法 4. 研究に不可欠な分析方法、とくに質的データについての分析方法(定性分析)について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ア)内容分析 イ)ディスコース分析:会話分析、言語行為分析、レトリック分析、批判的ディスコース分析など 5. 引用や参考文献表の作り方 	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 後期 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月15日	本学後期試験期間中に行い、他にインタビュー分析レポートと先行研究リストのレポート
43	西南学院大学	-	フランス語コミュニケーション集中演習I	J. -L. アズラ	<p>この授業は、主に3つのフランス語スキルを伸ばすことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールや手紙を書く ・短いストーリーを書く ・作文やレポートを書く <p>各テーマでは、まず、型(modele)を理解した後、基礎的な練習を行い、応用練習で実際の手紙やレポートを書く。</p> <p><各回の授業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-2 自己紹介スピーチ 3-4 友だちへのメール / フランス語でタイプする 5-6 友だちへの手紙 / キーボードの配置 7-8 あらたまったメール / スペースの使い方 9-10 シナリオと小説の形式 / 大文字の使い方 11-12 直接話法・間接話法 / フランス語のカッコ 13-14 あらすじ① / 創作のヒント、語彙の増やし方 15-16 あらすじ② 17-18 意見文 / ローマ字の使い方 19-20 哲学の作文 / 「que ~ et que ~」など 21-22 資料の説明文 / 引用ルール ① 23-24 資料の説明文 / 引用ルール ② 25-26 短い記事 27-28 フランス式の履歴書 / 書式を整える 29-30 志望動機書 	2年次以上	<ol style="list-style-type: none"> 1.一回目の授業に持参するもの(必須) <ul style="list-style-type: none"> ・証明写真またはそのコピー1枚 ・B5版のノート1冊 ・教科書 2.やむを得ず欠席する学生は、事前にクラスメートに頼み、配布物や指示について次の授業までに必ず自分で対応すること。 3.毎回必ずフランス語の辞書を持参すること。 	5人	4	週2回 前期 月曜1時限目 (9:00~10:30) 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×30回	4月2日	4月11日	出席点、平常点(小テスト、小論文) 期末テストは行わない。
44		-	フランス語基礎会話(1)	J. -L. アズラ	<p>本科目の目的は、フランス語を使って口頭で自己表現ができるようになることである。</p> <p>この授業は前期に週に2回、全30回行われる。「Conversations dans la classe BASIQUE」という教科書を使用する。これは初級レベルのフランス語学習者が会話を学ぶためのもので、各課は会話のテーマ(趣味、最近の出来事など)、会話に必要な語彙、文型、会話のコツで構成されている。</p> <p>授業では、履修者全員が日常的な話題の会話をフランス語らしい仕方で行って行く。授業は大きく二部で構成される。</p> <p>(1)会話の準備:その日の会話のテーマに必要な新出語彙と文型の導入及び練習</p> <p>(2)会話練習と会話テスト:学んだことを使って会話する</p> <p>以上の他に、会話を行うのに必要な基礎的なフランス語力を習得する目的で、語彙や文章構造などの小テストも受ける。</p>	1年次以上	<ol style="list-style-type: none"> 1.一回目の授業に持参するもの(必須) <ul style="list-style-type: none"> ・証明写真またはそのコピー1枚 ・B5版のノート1冊 ・教科書 2. やむを得ず欠席する学生は、事前にクラスメートに頼み、配布物や指示について次の授業までに必ず自分で対応すること。 3. 毎回必ずフランス語の辞書を持参すること。 	5人	4	週2回 前期 火曜3時限目 (13:30~15:00) 水曜1時限目 (9:00~10:30) 90分×30回	4月2日	4月12日	出席点、平常点(会話テスト、語彙などのテスト) 期末テストは行わない。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
45		-	フランス語コミュニケーション演習IB	J. -L. アズラ	<p>この授業は、主に3つのフランス語スキルを伸ばすことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールや手紙を書く ・短いストーリーを書く ・作文やレポートを書く <p>各テーマでは、まず、型 (modele) を理解した後、基礎的な練習を行い、応用練習で実際のメールやレポートを書く。</p> <p>【各回の授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介スピーチ 2. 友だちへのメール 3. 友だちへの手紙 4. あらたまったメール 5. シナリオと小説の形式 6. 直接話法・間接話法 7. あらすじ① 8. あらすじ② 9. 意見文 10. 哲学の作文 11. 資料の説明文① 12. 資料の説明文② 13. 短い記事 14. フランス式の履歴書 15. 志望動機書 	2年次 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一回目の授業に持参するもの (必須) <ul style="list-style-type: none"> ・証明写真またはそのコピー1枚 ・B5版のノート1冊 ・教科書 2. やむを得ず欠席する学生は、事前にクラスメートに頼み、配布物や指示について次の授業までに必ず自分で対応すること。 3. 毎回必ずフランス語の辞書を持参すること。 	5人	2	週2回 後期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月20日	出席点、平常点 期末テストは行わない。
46	西南学院大学	-	フランス語基礎会話II(1)	J. -L. アズラ	<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>本科目の目標は、日常生活場面で初級レベルのフランス語を使えるようになることである。学期を通して、履修生はいくつかの日常的フランス語コミュニケーション場面でのフランス語使用の経験を得る。この経験は将来、フランス語を使用する履修者の役に立つ。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>履修生は、以下のリストから5つのテーマを選択する。家庭、学校、観光、買い物、レストラン、郵便局、パーティでの出会い、お金に関わるトラブル、グループ内のトラブル、就職活動、職場、ゲーム遊び。</p> <p>選択したテーマごとに、4人1組の8~10組に分かれてロールプレイを行う。各組でシナリオを書き、5~8分のロールプレイ劇をクラスで発表する。他のグループの学生のために、フリップ式の「字幕」(学期の最初は日本語、後にフランス語)を用意し、劇の上演中に見せる。</p> <p>発表の際は、相互評価を行う。</p> <p>ロールプレイは、実生活で起こりそうな内容、フランス語コミュニケーションらしい文化的要素、感情表現、ユーモアなどを意識して作成する。</p> <p>フランス語で寸劇を作ることにより、話す能力だけでなく、書く能力、発音などの総合的な言語能力、演技力、記憶力などを要求される。</p> <p>寸劇は即興でなく、用意したシナリオを暗記して演じる。本科目の内容や語彙は初級レベルであるが、将来仕事や旅行でフランス語を話す機会があれば、ここで学んだ土台を発展させることができる。</p>	1年次 以上	特になし	5人	4	週2回 後期 3時限目 (13:30~15:00) 金曜2時限目 (10:40~12:10) 90分×30回	4月2日	9月16日	40%:個人の出席、活動参加 30%:チームの成果(授業担当者の評価) 30%:チームの成果(履修学生による相互評価)
47		-	メディア・フランス語	J. -L. アズラ	<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>本科目では、履修生はフランス語を使用して、メディア業界の状況設定でシミュレーションを行う。ここでメディアフランス語を使用した経験は、履修生が今後フランス語メディアに触れる際に役立つ。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>履修生は、学期を通じて、以下の2種類の状況設定でシミュレーションを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マーケティング: フランス人の若者を顧客ターゲットに想定した商品を企画し、フランス人留学生を対象に市場調査を行う。 ②ジャーナリズム: フランスに関するテーマをひとつ取り上げ、フランス語で記事を書き、クラスで発表を行う。 <p>作業は、チームで行う。各メンバーは、各シミュレーションのすべての作業に参加する。作業ごとに責任者を置き、全員が何らかの作業の責任者を務める(チームリーダー、データ収集責任者、執筆責任者、デザイン・レイアウト責任者など)。チーム作業はフランス語で行うこともある。</p> <p>作業を通じて、履修生は仕事の段取りの仕方(目標に向かって計画を立て効率的に実行すること)を学ぶことができる。責任感、締切を守ること、チームで質の高い結果を追求することなど。</p>	3年次 以上	特になし	5人	2	週1回 後期 月曜4時限目 (14:40~16:10) 90分×15回	4月2日	9月26日	40%:個人の出席、活動参加 30%:チームの企画、広告、記事、発表など(授業担当者の評価) 30%:チームの企画、広告、記事、発表など(履修学生による相互評価)

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
48		-	フランス語アトリエ(12)	J. -L. アズラ	この授業の目的は、中級レベルのフランス語の文章を読みながら、フランス社会・文化について知ることである。文章のテーマは、学校・教育システム、政治、仕事・雇用、宗教、カップル・家族構成などである。授業はフランス語と日本語を使って進められる。教材はフランス語であるが、履修生は日本語で発表や発言をしてもよい。この授業で学ぶ内容は、ヨーロッパの他の国について学んだり、考えたりする際にも役立つ。 <各回の授業内容> 1. フランスの国土と地方 2. フランスの季節と暮らし 3. 復習・発展 4. フランスの初・中等教育 5. フランスの高等教育 6. フランスの食事 7. 復習・発展 8. フランスの政治 9. フランス人と仕事 10. フランス人とバカンス 11. フランス人と信仰 12. 復習・発展 13. 女性と男性、家族 14. フランス人の礼儀と会話のマナー 15. 復習・発展	3年次 以上	1.一回目の授業に持参するもの(必須) ・証明写真またはそのコピー1枚 ・B5版のノート1冊 ・教科書 2.やむを得ず欠席する学生は、事前にクラスメートに頼み、配布物や指示について次の授業までに必ず自分で対応すること。 3.毎回必ずフランス語の辞書を持参すること。	5人	2	週1回 後期 木曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	9月15日	出席点、平常点(小テスト)
49	西南学院大学	-	西洋文学A(1)	武末 祐子	<授業の到達目標およびテーマ> ーハイブリッド性のおもしろさー ハイブリッドといえば、ガソリンと電気で動くハイブリッドカーがすぐ思い浮かぶが、実は、昔から、人類は、ハイブリッドに親しんできた。たとえばハイブリッド生物は、スフィンクス、キマイラ、ペガサスなどギリシア神話から人魚姫などおとぎ話、ディズニー映画や妖怪人間まで、枚挙にいとまがない。 私たちは、好む好まざるにかかわらず、グローバル時代に生きている。私のセーターは、フランス人がデザインして、中国で生産され、日本の会社から販売されている、3か国のハイブリッド製品だ。 私はしばしば出張するが、たとえば福岡ー東京を歩くわけではない。飛行機に乗って本を読んで、ひと眠りすると、東京に着く。私の一日は、福岡と東京が地続きではないドッキングの仕方をしている。このようなハイブリッド感覚は飛行機のおかげだ。東京ーパリもそうだろう。ParisーNYもそうだろう。それだけではない。空港にはホテルも、商業施設も、癒しの空間も、会議室も備えられている。一つの都市のように、空港もまたハイブリッドな空間ではないか。現実の世界とヴァーチャルな世界は常にいきなり隣りあわせだ。 ゴシック聖堂など西洋の建築物は、100年200年かけて築かれたものも多い。一つの建築物は諸世紀のハイブリッド作品といえよう。17、18世紀の風景画や景観図はどうか。ピカソやブラックの絵はどうか。すべての要素を許容する小説はどうか。 異質なものの混淆、ハイブリッド性とは、ユーモアか、恐怖か、それとも美か、考察してみよう。 <授業の概要> 授業は講義形式で、授業担当者がギリシア神話、17、18世紀のヨーロッパの建築や絵画などを取り上げ、さらにフランス19世紀文学、20世紀初めの芸術まで様々な作品を紹介しつつ解説する。プリント配布と映像資料(イメージ提示やDVDなど使用)によって進めていく。ハイブリッド文学や画像に興味のある人は、ぜひ発表をしていただきたいと思います。なぜハイブリッドの必要があるのか、考えてみてください。 <準備学習等についての具体的な指示> 予習のためにプログラムにある文学作品を読み、絵画など芸術作品は前もって観賞しておくことが望ましいです。発表を希望する人は、積極的に申し出て下さい。また、授業中は、質問をしたり、積極的授業参加のために、出席カードの裏にコメントを書いて提出して下さい。 <各回ごとの授業内容> 1.序論 2.ギリシア神話ー合成獣と変身譚ー 3.ギリシア神話ーヘパイストスー 4.フランス式整形庭園とイギリス式風景庭園 5.風景画と景観画 6.ルソー『孤独な散歩者の夢想』 7.メリメ『イルのヴァーナス』 8.ユゴー『レ・ミゼラブル』ー物語ー 9.ユゴー『レ・ミゼラブル』ー物語と物語の間ー 10.スティーンソン『ジキル博士とハイド氏』 11.フロベール『ヘロディアス』とギユスターブ・モローの「サロメ」 12.オスカー・ワイルド『サロメ』 13.クロード・モネから抽象画へ 14.サン＝テグジュペリ『星の王子さま』 15.結論	1年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 前期 月曜4限目 (14:40~16:10) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、授業参加3割、積極的授業参加(発表)加点、最終レポート7割の総合評価とする。成績評価を必要とする人は、3分の2の出席がないと、レポートを提出する資格はないので注意してください。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
50	西南学院大学	-	フランス食文化研究	武末 祐子	<p>【授業の到達目標及びテーマ】 フランス料理は、2010年にユネスコ世界遺産の無形文化財に登録された。食の芸術(L'art du bien manger et du bien boire)といわれるフランス料理について昔と今、食材と産地、越境する技術といった視点を意識しながら学ぶ。農業国であり、美食の国であるフランスは、食材の豊かさや食卓の美を併せ持つ。人はなぜ、美味しく食べようとするのか。なぜ人をもてなそうとするのか。食文化の歴史と現在を理解しながら、フランスと地中海の国々の食文化の豊かさや食の知識を得る。</p> <p>【授業の概要】 この授業は、3つの部門からなる。(1)フランス料理、フランス菓子などに関わる人々に、ゲストティーチャーとして来てもらい、講義をしていただく。(2)参加する学生さんに国内・海外を問わず食に関する発表をしていただく。(3)講義担当者がヨーロッパとフランスの食文化の歴史を紹介する。この構成は、日本におけるフランス食文化の担い手であるプロの方々、学生さんの目線で捉える食文化の面白さ、食の国フランスの大きな歴史的流れ、という多角的視点による食のコミュニケーションについてもよい。今年度は「なぜ食を語るのか」をテーマに、フランスの食文化を身近に感じ、日本の食文化との融合も楽しむ。</p> <p>【準備学習等についての具体的な指示】 フランスの食文化に興味がある受講者は、「食べること」に興味があると思うので、ゲストティーチャーに対しては、積極的に質問をし、また考えていることを述べ、活発な授業参加をしてほしい。また、食についての取材や研究発表も募ります。</p> <p>【授業計画(各回ごとの授業内容)】 (1)序論 (2)フランス料理1 (3)フランス料理2 (4)フランスのパティスリー1 (5)フランスのパティスリー2 (6)フランスのパン1 (7)フランスのパン2 (8)フランスの家庭料理1 (9)フランスの家庭料理2 (10)地中海料理1 (11)地中海料理2 (12)フランスのワイン1 (13)フランスのワイン2 (14)「なぜ食を語るのか」 (15)結論</p>	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 後期 金曜2限目 (10:40~12:10) 90分×15回	4月2日	9月16日	授業参加3割、積極的授業参加(加点)、レポート7割による総合評価とする。出席が3分の2以下の人はレポートを提出する資格がないので注意してください。
51		-	情報処理応用IE(51)	田中 謙一郎	RやSPSSを用いてデータ分析の基本を説明し、情報処理センターで実習を行う。	1年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 金曜2時限目 (10:40~12:10) 90分×15回	4月2日	4月8日	成績は、クイズ、提出された課題、主体的な授業への参加状況によって評価する。
52		-	演習 I (9): 姫浜地域の活性化の座学と実践	小出 秀雄	<p>本演習では、地域活性化・コミュニティデザインに関する最近の文献を輪読し研究する【座学】を行う一方、福岡市西区・姫浜地域を具体的な研究フィールドとして、同地域の方々やゼミ外・学外の学生有志とともに地域活性化を【実践】する。</p> <p>【座学】では、商店街活性化・まちづくりの実態を解説したテキストを輪読するとともに、2~3名のグループによる研究成果を披露し合うことによって、現在の地域・商店街が抱える課題を理解し対策を講じるのに必要な考察力、およびそれを「ほかの人にわかりやすく伝え・自ら実践する」能力を養う。教員・受講生・学外者間の対話を通じて、有意義な議論の仕方や発表・司会の進め方、レポートの作成方法などを修得する。</p> <p>【実践】では、西南学院大学教育インキュベータープログラム「姫浜西南大学まち」(2015年度後期~2018年度前期)の取組主体として、姫浜商店街の「M'sコミュニティ」(エムズコミュニティ、姫浜商店会連合会・あこめっこ・西南学院大学の協働交流施設)を拠点に、地域活性化イベントの企画・運営を日常的に行い、社会・地域を将来リードするための姿勢と知恵を養う。また、M'sコミュニティにて適宜、公開研究発表会を開催する。</p> <p>【テキスト】辻井啓作著『なぜ繁栄している商店街は1%しかないのか』(阪急コミュニケーションズ、2013年)／九州大学大学院アーバンデザイン学コース編『都市理解のワークショップ: 商店街から都市を読む』(九州大学出版会、2015年、部分的に使用)</p>	すべての学部生 (所属学部、学年は問わない)	地域活性化の方策をもとに学び、実践したい人の履修を歓迎する。この域学連携の情報には、Facebook等を利用して常時発信している< https://www.facebook.com/meinoseinan/ >。	5人程度	4	週1回 通年 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×30回 ほか、課外での活動もあり	4月2日	4月7日	平常点とりポートの内容に基づいて評価する。その内訳は、平常点70%、レポート30%とする。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
53	西南学院大学	-	国際協力論	野田 順康	本講義では、第一に政府開発援助、技術協力の方法、参加型開発等の国際協力の仕組みを理解する。第二に国際協力の仕組みを通じて食糧安全保障や環境問題等の地球規模の課題にどの様に取り組んでいくかを勉強すると共に、自分自身の今後の関わり方について議論・討論する。	2年次以上	国際協力及び英語に関心を有する者(授業は英語で行う)。	10人	2	週1回 前期 金曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート(50点)、テスト(50点)によって評価する。
54		-	国際開発論	野田 順康	本講義では、国際開発論の経緯及び開発をめぐる様々な考え方を理解した上で、経済開発及び社会開発の意義、また人口爆発と都市化や環境問題などの地球規模の課題について学ぶ。さらに、国連のミレニアム開発目標や持続可能な開発目標の全体像を学習する。国際開発の基本的な考え方を理解することを目的とする。	2年次以上	国際開発及び英語に関心を有する者(授業の前半は英語で行う)。	10人	2	週1回 後期 金曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	9月16日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート(50点)、テスト(50点)によって評価する。
55		-	政治学原論	鵜飼 健史	①授業の到達目標およびテーマ:政治学原論のテーマと方法論を、政治学史の展開と結びつけながら理解すること。現代デモクラシーの機能・構造に関する基礎知識を習得し、それに対する分析アプローチと基準を考察できること。 ②授業の概要:政治過程・制度の概要およびメカニズムを学び、それらと現代社会とのつながりを分析する。分析対象としての人間行動に注目しながら、政治社会の作動に関するアプローチとその成果を学ぶ。分析対象が有する「政治的」な性質を、静態的な公的制度だけではなく、権力と公共性との関係で理解する。 ③準備学習等についての具体的な指示:レジュメについてはMoodleにアップするので、各自初回までに準備しておくこと。詳しい授業内容はオンラインのシラバスを参照のこと。	2年次以上	特になし	10人	4	週2回 前期 月曜4時限目 (14:40~16:10) 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×30回	4月2日	4月11日	平常点(20)、中間試験(30)、期末試験(50)
56	-	国際関係史	山本 健	【授業の到達目標及びテーマ】 われわれが生きているこの世界は、どのような形で成り立っているのだろうか。今の世界が今のような世界になっているのは、歴史的な結果である。だとすれば、現在を理解するためには、過去を知ることが不可欠ということになる。本講義では、世界の歴史を、国際社会の変容という観点から理解する事を目標とする。そして歴史の大きな変化の流れの中で現在を理解し、未来を展望してもらう事がこの講義のねらいである。単に昔のことを知るのではなく、今を知るための歴史を学ぼう。 【講義の概要】 本講義では、外交を中心とした国際社会の変容を歴史的に概観する。とくに、国際社会における原則や制度がどのように生成され変化していったのかという点に注目しながら、現在の国際社会が構築される過程や現代国際社会の特徴を理解する。またそのような変化をもたらすきっかけとなった戦争がどのように起こり、戦後にどのような秩序が構築されたのかという点にも注目する。 講義は、大きく前半と後半に分かれる。前半では、ヨーロッパを中心とした国際社会の生成と変容を中心に話す。後半は、20世紀の国際関係の歴史を詳しく論じる。特に、第一次世界大戦、第二次世界大戦という二つの大戦争の後、冷戦と呼ばれる時代が始まり、われわれが生きている現在は、その冷戦が終わった後の時代だという歴史観を身につけてもらいたい。 【事前・事後学習等についての具体的な指示】 本講義は、高校世界史の基礎知識があることを前提として進める。細かな事実まで覚えている必要は無いが、16世紀以降の世界史上の大事件や大まかな歴史の流れについての知識があることが望ましい。また授業で指示する参考文献を読み、理解を深めること。	2年次以上	特になし	制限なし	4	週2回 後期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 木曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×30回	4月2日	9月15日	中間レポート(30点)と、論述形式の期末試験(70点)で評価します。	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
57	西南学院大学	-	国際政治学	山本 健	<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>世界は、あるいは日本を取り巻く東アジアの国際情勢は今後どうなっていくのだろうか。多くの人が関心を持つ問題であろう。本講義は、時事問題を解説する授業ではない。むしろそこからは少し距離を置きつつ、国際政治学の様々な理論や思想を学ぶことを通じて、世界の見方を身につけることがこの授業の目的である。</p> <p>国際政治は、そして世界は、どのように理解することができるのだろうか。国際政治学の先人たちは、この大きな問題に取り組み、様々な見方を提起してきた。本講義は、その様々な見方＝理論を中心に、国際政治や戦争と平和について考えていく。</p> <p>様々な見方があるということは、国際政治(学)には、一つの確固たる理論や法則が存在するわけではない、ということの意味する。様々な理論が存在する背景には、その背景に思想的な違いが存在すると同時に、世界そのものも変化してきているという事実が存在する。国際政治学は第一次世界大戦後に生まれ、主にアメリカとヨーロッパにおいて発展した比較的新しい学問であるが、歴史的变化の中で、理論も変化・発展してきた。それゆえ本講義では、国際政治学の先人たちによる知的格闘を、歴史的变化の中で理解することを目指す。</p> <p>【講義の概要】</p> <p>国際政治学という学問がカバーする範囲は広い。それゆえ、本講義では戦争と平和、そして安全保障という問題をテーマの中心に据えて議論する。講義は第一部と第二部に分けておこなう。第一部では、国際政治学の二大潮流であるリアリズムとリベラリズムの様々な基礎理論と思想的背景について論じる。第二部では、冷戦後のアクチュアルな問題を国際政治の理論的観点から説明する。</p> <p>【事前・事後学習等についての具体的な指示】</p> <p>日々の国際的なニュースに関心を持って見たり、新聞をきちんと読んだりすること。授業で学んだ国際政治の見方や理論を、日々の国際ニュースを見る際に応用してみる。授業で指示した参考文献を読み、さらに理解を深めること。</p>	2年次以上	特になし	制限なし	4	週2回 前期 月曜3時限目 (13:00～14:30) 木曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×30回	4月2日	4月7日	中間レポート(30点)と、論述形式の期末試験(70点)で評価します。
58	西南学院大学	-	国際関係論	山本 健	<p>【授業の到達目標及びテーマ】</p> <p>本講義は、国際関係の視点から今日の世界を理解することを目的とする。本講義の狙いは、国際関係に関するニュースや新聞記事を読み解くための基礎知識や知的体力を学生諸君に身につけてもらうことにある。この講義によって、国際政治経済的な観点から、グローバル化の基本的な知識を獲得することを目指す。また歴史的観点から、今日の世界を理解する視点を学ぶ。</p> <p>【講義の概要】</p> <p>本講義は通年科目であり、前期と後期の二部構成となっている。まず前期では、グローバリゼーションについて学ぶ。今日の世界の特徴は、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて、すさまじい速度で移動していることにある。その際、国境とは「国家」を前提とした制度であることが重要である。国際社会は、国家を前提とした社会であり、国際関係とは狭くは国家と国家の関係のことである。しかし今日の世界を理解するためには、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動すること、すなわちグローバル化や、国家という枠を超えて地球規模で起こっている環境問題などが、国家間関係やわれわれの生活にとってどのような意味を持つのかを考えなければならない。</p> <p>後期では、冷戦について学ぶ。今日の国際関係の基本的な形は、第二次世界大戦後の冷戦時代において形作られたものである。それゆえ今を知るためには、冷戦を理解し、冷戦が終焉した後、何が変わったのかを理解する必要がある。冷戦とグローバリゼーションを学ぶことで、今日の、そしてこれからの国際関係を展望する基礎を固めることが本講義の課題である。</p> <p>【事前・事後学習等についての具体的な指示】</p> <p>日々の国際的なニュースに関心を持って見たり、新聞をきちんと読んだりすること。授業で指示する参考文献を可能な限り読んでおくこと。</p>	1年次以上	特になし	制限なし	4	週1回 通年 火曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×30回	4月2日	4月12日	前期と後期の期末試験で評価します。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
59		-	地域研究Ⅲ(ヨーロッパ)	山本 健	<p>【授業の到達目標及びテーマ】 本講義は、ヨーロッパという地域の特徴を、ヨーロッパ連合(EU)を通して理解することを目標とする。</p> <p>【講義の概要】 本講義では、今日ヨーロッパ連合(EU)として具現化しているヨーロッパ統合を歴史的観点から学ぶ。EUは現在のヨーロッパの最も重要な特徴というだけでなく、国際政治の歴史において極めて画期的な現象である。そのEUは現在も進化し続けている。その現在の姿を理解し、その将来を展望するためにも、ヨーロッパ統合の歴史を理解することが重要である。 ヨーロッパ統合の過程は、紆余曲折の連続であった。その過程で、どのような思想、思惑、情熱があり、なにが試みられ、達成され、また挫折したのか。EUの前身であるヨーロッパ共同体のしくみ、それが取り組んだ領域、そしてその拡大の三点に注目しつつ、ヨーロッパ統合の発展とその国際政治経済過程のダイナミズムを理解する。単に現在のヨーロッパ連合の表層を見るのではなく、その歴史過程を学ぶことにより、より深いレベルでヨーロッパ統合の現実を理解することが講義の目的である。この講義によって受講者は、国際舞台上で活躍していく上で不可欠となる、政治経済的な教養を獲得することができる。また、歴史的視点から今日の政治経済の変動を把握する能力を身につけることができる。</p> <p>【事前・事後学習等についての具体的な指示】 日々の国際的なニュースに関心を持って見たり、新聞をきちんと読みだりすること。授業で学んだ国際政治の見方や理論を、日々の国際ニュースを見る際に応用してみる。授業で指示した参考文献を読み、さらに理解を深めること。</p>	2年以上	特になし	制限なし	2	週1回 後期 木曜4時限目 (15:10~16:40) 90分×15回	4月2日	9月15日	期末試験で評価します。
60	西南学院大学	-	社会心理学	柳澤 さおり	<p>【授業の到達目標及びテーマ】 社会心理学は、社会における個人や集団の行動を、その個人や集団が置かれた状況との相互影響から理解しようとする心理学の分野である。本講義では、具体的な事例や実験例、学生が事前に準備してきた課題の内容を基に、社会心理学の基礎知識を獲得することを目指す。 到達目標は以下の通りである。 (1) 社会心理学の基礎的な用語や理論について理解し、説明できる。 (2) 社会心理学に関わる実験や調査の結果を示した図や表が意味するものを読み取り、社会心理学の用語や理論に基づいて説明できる。 (3) 自分の体験や社会の出来事に関わる因果関係を、社会心理学の用語や理論を用いて説明できる。</p> <p>【授業の概要】 授業では、各テーマの基本的な知識や考え方を講義する。事前に指定していた課題について発表を求められることもある。</p> <p>【事前・事後学習等についての具体的な指示】 シラバスに指定している教科書の部分をあらかじめ読んでおく。また、授業中に指示された課題を準備しておく。</p> <p>【各回ごとの授業内容】()内はキーワード 【第1回】<社会心理学の概要>(社会心理学の歴史と領域、研究法) 【第2回】<社会的認知(1)>(情報処理、印象形成、スキーマ、ヒューリスティック) 【第3回】<社会的認知(2)>(原因帰属) 【第4回】<自己>(自己概念、自己意識、自己開示) 【第5回】<態度(1)>(態度の要素、態度形成、説得効果) 【第6回】<態度(2)>(態度のバランス理論、認知的不協和理論) 【第7回】<社会的影響(1)>(同調、少数者影響) 【第8回】<社会的影響(2)>(権威への服従、影響力) 【第9回】<対人魅力>(対人コミュニケーション、類似性-魅力理論、単純接触仮説) 【第10回】<援助>(援助行動、傍観者効果) 【第11回】<攻撃>(攻撃行動、内的衝動説、情動発散説、社会的機能説) 【第12回】<集団(1)>(集団規範、凝集性、社会的な手抜き、社会的促進) 【第13回】<集団(2)>(集団極性化、集団思考、リーダーシップ) 【第14回】<ゲストスピーカーによる講義>(説得) 【第15回】まとめ</p>	2年以上	特になし	10人	2	週1回 前期 金曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	4月8日	成績は、期末試験(70点、テキストやノート等の持ち込み不可)提出課題の成績(30点)による。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
61	西南学院大学	-	美学・芸術学B	森田 園	<p>【授業の到達目標及びテーマ】 〈悲劇的なものの美学〉 ヘーゲル以降の美学を悲劇的なものの概念を中心に追うことによって、近代においてなぜこれほど悲劇解釈が重要な意味をもったのかを明らかにすることを試みる。</p> <p>【授業の概要】 十九世紀から二十世紀初頭の美学ないし芸術学における悲劇的なものの解釈を手掛かりに、近代人の自己理解にとってなぜギリシア悲劇ないし近代悲劇への問いが必要不可欠であったのかを本講義では明らかにしたい。</p> <p>【準備学習についての具体的な指示】 各回に講義内容の要点をまとめたレジュメを配ります。講義のあとにレジュメとノートとを突き合わせ復習することが、次回の講義の準備となる。</p> <p>【各回ごとの授業内容】 1. 序論——悲劇的なものとは何か(アリストテレスの『詩学』1) 2. アリストテレスの『詩学』2 3. シェリングの悲劇解釈1 4. シェリングの悲劇解釈2 5. ヘーゲルの悲劇解釈1 6. ヘーゲルの悲劇解釈2 7. ヘルダーリンの悲劇解釈1 8. ヘルダーリンの悲劇解釈2 9. キルケゴールの悲劇解釈1 10. キルケゴールの悲劇解釈2 11. ニーチェの悲劇解釈1 12. ニーチェの悲劇解釈2 13. 20世紀初頭の哲学における悲劇解釈1 14. 20世紀初頭の哲学における悲劇解釈2 15. 20世紀初頭の哲学における悲劇解釈3</p>	2年次以上	受講前にソフォクレス『オイディプス王』、シェイクスピア『ハムレット』を読んでおくこと	10人	2	週1回 後期 金曜4時限目 (14:40~16:10) 90分×15回	4月2日	9月16日	原則的にすべての講義(全15回)に出席し、コメントカードを提出することを単位認定の前提とする。筆記試験によって評価する。筆記試験に加えて、講義期間中に少なくとも一回の課題(レポート)の提出を求める。
62	-	-	音楽の世界	原田 大志	世界の様々な音楽と、その音楽が引き起こす事象が、人間の営みとどのように結びついているか考える。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月2日	4月6日	H28.7.29~ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり
63	中村学園大学	-	九州経済事情	片山 礼二郎	九州の経済が今、どんな状況にあるのか？九州の成長産業はなにか？、九州の産業の現状と課題はなにか？、また、昨今、注目されている「地方創生」の観点から、九州で増やしていくべき「しごと」とはなにか？そして、福岡が発展拡大してきた要因はなにか？という疑問に答える講義です。学生のみならず、日本経済の中で九州がどれほどの地位にあり、どのような発展をたどってきたか、またその中で、どのような九州の企業が活躍してきたか、意外とわからないのではないのでしょうか？すべての疑問に答えられるわけではありませんが、そのような九州経済や九州の企業に対する問題意識に対する「気づき」を与える講義にしたいと考えています。この講義では、そんな身近な経済に関する疑問を、現在の新聞報道や過去のニュース映像をきっかけに、学生のみならずやりとりしながら、講義を進め、みなさんの九州経済、福岡経済に関する理解を深め、マーケットの将来性を判断するための視点について学び、身の回りの経済を見る目を養うことを狙いとしています。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜5時限 (16:35~18:05) 90分×15回	4月2日	4月7日	H28.7.29~ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり
64	-	-	マスコミ論	田代 俊一郎	21世紀のマスコミは新聞、テレビ、ラジオ、出版などに加え、ITメディアが巨大化している。まさに現代人は情報の氾濫、洪水の中に身を置いている。劇的に変化する世界、社会環境の中、多様な情報を受け手としてだけでなく、自立した創造的な生き方に向かう情報を活用していくか。メディアリテラシーの一環としてマスコミという「怪物」を一緒に考える。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月2日	4月6日	H28.7.29~ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり
65	-	-	食の科学	未定	日本人の食生活の「欧米化」は絶対悪であろうか？実は、欧米化によって悪くなった点がある一方で、良くなった点もある。それは、科学的データが証明している。科学的データをひも解くことは、どのような食生活が健康に良いのか、または悪いのかを知るヒントになる。本講義では、食の科学について様々な科学的データを紹介し、どのような食生活が健康に寄与するのかを、自分自身の食生活も振り返りながら考えてもらいたい。本講義を通して、病気になるにいい健康的な食生活を形成するための方策を、科学的データに基づきながら一緒に考えてみたい。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月2日	4月11日	H28.7.29~ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
66	中村学園大学	-	体の科学	竹嶋 美夏子	私たちの体は、生きていくために食物摂取、消化・吸収、血液の循環、呼吸、筋肉運動、成長、生殖、老廃物や熱の排出などいろいろな働きを行っている。これらが正常に働くことができなくなると様々な疾病を引き起こすことになる。そこで、本講義では正常なヒトの体のしくみと働きについて学ぶ。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月6日	H28.7.29～ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり
67		-	色彩の科学	手嶋 康則	本科目は、教育課程の「基礎教養」の科目として位置づけられ、栄養科学部、教育学部、流通科学部の各学科を対象とし、色彩の基礎知識を習得しながら3学科の特徴を考慮した授業構成となっており、幅広い色彩分野の知識を学び、色に関する興味をより一層高めてもらうことをねらいとしている。 さらに本科目を受講することで、色彩検定の資格取得の一助となることを目的としている。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	4月11日	H28.7.29～ H28.8.5 ※授 業中に実施 の場合もあり
68		-	アートワールド	蒲池 昌江	本科目は、美術領域における知識を幅広く身につけるとともに、美術作品の鑑賞において言語表現能力やコミュニケーション能力を培いながら美的思考を養うことをねらいとしている。 本講座では、西洋美術、日本美術、アジア美術における表現の歴史や社会的背景を概観し、個々の作品についてディスカッション形式やグループワークで読み解いていく。さらに、それらの表現を通して現代社会においてアートがなす役割や可能性について考察する。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月12日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり
69		-	食の博多学	松隈 美紀	食の博多学の授業は、現在あなたが生活をしている博多(広い意味での福岡市内)で食べられている四季のふるとの味、郷土料理などの歴史や言葉の意味、作り方や分量などを知ることで昔の人の食に対する考え方や、感謝の気持ち、地元の食材の知識や大切に使う心を養い、博多の食の魅力を自分の言葉で人に伝えられるようになることをテーマとする。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月12日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり
70		-	アジア食文化事情	三成 由美 他	日本における食文化のあり方を世界的視野で見直し、東西の食文化の違いを理解し、また日本が属しているアジアの風土や食文化の特色を考え、各国、特に東アジア各国の食文化の独自性、共通性について理解を深める。更に今後の発展の可能性を考察する。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月14日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり
71		-	知的財産論	後藤 道子	今日、知的財産に対する意識の高まりやメディアの多様化、デジタル化、ネットワーク化の進展に伴い、知的財産を法的に保護する知的財産制度に関する理解の必要性が増してきています。本講義では、知的財産に対する知的財産権に関する基礎的な知識を学び、関連する最新のニュースや裁判例など具体的な事例(「バクリ」や「模倣」事件等)について検討しつつ、知的財産の創造、保護及び活用に関する問題に対応する力を養います。知的財産には技術的アイデア、ブランドマーク、物品のデザイン、音楽・アニメなどが含まれます。保護対象によって権利の保護法が異なるので、それらの基本的内容を理解し、知的財産権に関する問題をインターネット上での問題も含めて多角的な視点で捉えることができるようになることを目標とします。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 木曜5時限 (16:35～18:05) 90分×15回	4月2日	9月15日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり
72		-	博多学	占部 賢志	古来から博多は九州の中心的な役割を果たしてきた地域であり、また、東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産、豊かな郷土文化が今日も受け継がれている。そこで当科目では、歴史、文化、産業、国際交流、生活、年中行事など学際的なテーマを設け、博多を中心に関係地域も視野に入れて人と人の関わりを探求する。したがって、郷土再発見の目標に加えて、卒業後の地域社会に生きるうえでの教養科目としても位置づける。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月12日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり
73	-	食品流通論	中川 隆	本講義の概要は、食品流通(フードマーケティング)理論の習得を目指すことである。具体的には、食品流通の標準的テキストや国内外の実態調査で得た知見をもとに作成した資料をベースにして、食品流通に関わる経営・マーケティング・流通の実態と理論を学ぶことで、食品流通に係る興味・関心をより高める。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 火曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月2日	9月13日	H29.1.23～ H29.1.31 ※授 業中に実施 の場合もあり	
74	福岡歯科大学	-	コミュニケーション・トレーニング	口腔保健学講座 口腔健康科学分野 准教授 町田 弘幸	創造性・協調性・多様性理解など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を、実践を通して理解し、身に付ける。	1年次以上	特になし	若干人(各大学 10人以内)	1	土曜日昼間 9-10月 240分(3コマ)×4 日	7月29日	9月～10月	試験なし
75		-	福博の歴史と文化探訪	地域連携センター 教授 永井 淳	この科目は我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域について考え、知ることを目的とした講座である。福博の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考え、学んでいきたい。この講座で学んだことを通じて、現在から将来にわたって自分を取り巻く地域や社会とどのように関わり、貢献出来るのかについて考察する。	1年次以上	特になし	若干人(各大学 10人以内)	1	・講義80分×3回 4/22.5/6.5/27の 金曜5限(16:10 ～17:30) ・現地見学土曜 ×4回 (4/23は必ず出 席すること。加 えて、5/7、14、21 の3回中2回以上 は必ず出席する こと)	4月15日	4月22日	試験なし

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
76	福岡大学	-	人間関係論A	渡邊 淳一	組織における「人間関係」の重要性を認識し、より良い「人間関係」を構築することをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「コミュニケーション」です。	3年次以上	特になし	50人	2	【前期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日(月)	4月13日(水)	試験なし
77		-	人間関係論B	渡邊 淳一	現在の日本の企業で「人的資源管理」がどのように行われているかをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「モチベーション」です。	3年次以上	特になし	50人	2	【後期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日(月)	9月14日(水)	試験なし
78		-	物理学入門 (映像により学ぶ物理学Ⅰ)	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、アルキメデスの原理、摩擦力、力の分解、真空、水圧、てこの原理、ニュートンの運動の第一法則、放物運動、相対運動、運動量保存則、力学的エネルギー保存則、回転運動と角運動量保存則などである。	1年次以上	特になし	若干人	2	【前期】 火曜日4時限 (14:40～16:10)	4月4日(月)	4月12日(火)	7月25日(月) 1限
79		-	物理の世界 (映像により学ぶ物理学Ⅱ)	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、音速、光の性質:直進性、レンズの性質、共振現象、反射、熱と気体の性質、太陽エネルギー、物質の溶解度、静電気、電池、電磁石、電気の発生などである。	1年次以上	特になし	若干人	2	【後期】 火曜日4時限 (14:40～16:10)	4月4日(月)	9月20日(火)	【H29】 1月21日(土) 1限
80		-	イギリス文化・文学概論A	園田 暁子	Charles Dickensの初期の作品、The Pickwick Papersを通じて、ヴィクトリア朝の文化や社会を軸に、イギリスの文化、社会、歴史について学びます。各回の授業では、作品の一部を原文で味わうとともに、選挙、旅、裁判制度、監獄、階級、決闘などについて取り上げて解説します。イギリスの文化や社会についてその歴史とともに学び、その全体像の概要を掴むことを目指します。	1年次以上	特になし	10人	2	【前期】 月曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日(月)	4月11日(月)	7月24日(日) 5限
81		-	イギリス文化・文学概論B	園田 暁子	イギリスの各地域(England, Wales, Scotland, Ireland)の独自の文化や歴史に着目しながら、イギリスの文化や文学、社会について学びます。大学で学ぶ際に役立つ、イギリス文化、文学、歴史の全体像を掴むことを目指します。	1年次以上	特になし	10人	2	【後期】 月曜日2時限 (10:40～12:10)	4月4日(月)	9月26日(月)	【H29】 1月20日(金) 5限
82		-	オペレーションズリサーチIA	米田 清	最適化法のコンピュータ実習を行う。統計処理言語Rをその開発環境RStudioで使う。無制約の最適化から最小2乗法まで。特に最小2乗法を「データに式をあてはめるための手法」としてでなく、「連立方程式の近似解法」として理解することを旨とする。	2年次以上	自宅での学習できるネットワーク及びパソコンの環境が整っており、その操作ができること。プログラミングの経験は前提としない。	若干人	2	【前期】 金曜日1時限 (9:00～10:30)	4月4日(月)	4月15日(金)	試験なし
83		-	オペレーションズリサーチIB	米田 清	連立方程式の解法のコンピュータ実習を行う。統計処理言語Rをその開発環境RStudioで使う。特に最小2乗法ではまにあわない、現実的な逆問題を扱う。逆問題とは解が一意に存在するとは限らない方程式系で、解が複数あったり、存在しなかったりする。	2年次以上	オペレーションズリサーチIAを履修済であること。自宅での学習できるネットワーク及びパソコンの環境が整っており、その操作ができること。プログラミングの経験は前提としない。	若干人	2	【後期】 金曜日1時限 (9:00～10:31)	4月4日(月)	9月16日(金)	試験なし
84		-	マクロ経済分析	高瀬 光夫	本講の目的は、既にマクロ経済学を学んだ人を対象に、実際の事例を通じて経済学を現実にもどのように適用していくかを学び、経済を見る視野を広げることにあります。本講では特に最新のさまざまな経済問題を取り上げるので、論争のある分析も紹介していきますが、国内ではまだ知られていない新しい視点での問題分析例を知ることができます。論文やレポート、さらに新しい研究テーマを見出そうとしている人に特に役立つでしょう。	3年次以上	入門レベルのマクロ経済学の知識を持っていることを前提に授業を行います。	制限なし	4	【後期】 木曜日2時限 (10:40～12:10) 金曜日3時限 (13:00～14:30) 【週2コマ開講科目】	4月4日(月)	9月15日(木)	【H29】 1月26日(木) 4限

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
85	共同開講科目	西南学院大学	博多学	(九州大学) 黒木 俊秀 岩崎 義則 (西南学院大学) 宮崎 克則 山根 明弘 (中村学園大学) 松隈 美紀 (福岡大学) 渡辺 亮一 (福岡歯科大学) 永井 淳	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及などの「歴史」、食文化、外来文化などの「文化」の面から考察する。	学部1年次以上	特になし ※博多学の現地見学においては、見学場所により多少の人数調整を行う可能性があります。	上限150人(各大学30人を目安とする)	1	集中講義 (約13時間講義 +実地見学)	所属大学の 教務担当窓口 にお問い合わせ ください。	実地見学 4/23(土) 5/7(土) 5/14(土) 5/21(土) のいずれか1 日 集中講義 8/22.23.24 の3日間	試験なし